

なだれ

3月になると日の照る時間が長くなり、気温が徐々に上昇してきます。一方、山間部や山沿いではまだ多くの積雪が残っており、「なだれ」による災害に注意が必要となります。

「なだれ」とは積もった雪が斜面を崩れ落ちる現象で、大雪が降ったときに新たに積もった雪が崩れ落ちる「表層なだれ」と、積もっている雪の全てが崩れ落ちる「全層なだれ」があります。気温の上昇に伴い地面の温度が上がり、積雪との境目に雪解け水や雨水が流れやすくなるため、特に全層なだれに注意する必要があります。

「なだれ」に対し注意しなければならない場合とは次のとおりです。

- ①雪しわと呼ばれる積雪表面のしゅう曲・ひび割れや、雪の塊が崩れ落ちるといった「なだれ」の前兆現象を見つけた場合
- ②日中の気温がプラスになる、積雪深が減少している、降雨があり、融雪が進んでいる場合
- ③短時間に強い降雪が続いた場合

稚内地方気象台では、「24時間降雪の深さが30cm以上」または「積雪の深さ50cm以上で日平均気温が5℃以上」を予想したときに「なだれ注意報」を発表しています。

積雪のある斜面では、どこでも「なだれ」の危険があると言っても過言ではありません。太い樹木が少なく低木や笹などに覆われた斜面では、特になだれが発生しやすいので注意が必要です。スキー・スノーボードや登山では、気象条件に十分に注意するとともに、地元の人が長年の経験から設定している危険地帯には絶対に立ち入らないでください。

また、市街地では寒さがやわらいだときに屋根からの落雪による事故が起きやすくなります。気温の変化に注意するとともに、軒下には入らないよう心がけましょう。

気象情報を上手に利用し、なだれや落雪などの事故に遭わないようにしましょう。

問い合わせ先 稚内地方気象台防災指導係(電話:0162-23-2679)
 稚内地方気象台HP [http:// www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html](http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html)



告知端末機
「知らせますケン」
 の視聴についての
お願い!

告知端末機「知らせますケン」は、通常の行政情報だけではなく、緊急の避難警報など重要なお知らせを放送することがあります。
 電源は必ず入れて、1日1回は視聴するようお願いいたします。

少年に日矢の早さや冬休み	よく書けている子の習字冬休み	幼な日の百人一首冬休み	薄縁 <small>うすべり</small> の上で豆擦り冬休み	宿題を明日に押しやり冬休み	ひとり子のスマホで過ごす冬休み	冬休みおとこ言葉の女高生	一月定期俳句会 幌延ほおずき俳句会
田中 徹男	熊谷千恵子	佐藤 光明	富樫とも子	横山 貞雄	三浦 宮吉	藤岡 芙美	